PRESS RELEASE

2026 年 11 月 13 日
ＡＲアドバンストテクノロジ株式会社
代表取締役社長　武内 寿憲

東京大学大学院経済学研究科と初の共同研究による ディスカッションペーパー公開のお知らせ

～ 生成 AI 導入と組織変革を主導する「リーダーシップ」の実践事例を分析～

ＡＲアドバンストテクノロジ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：武内 寿憲、以下 ARI）は、東京大学大学院経済学研究科 大木 清弘 准教授と、当社本社部門における生成 AI などの導入・活用を対象に、先行研究において十分に議論されてこなかった「組織変革とリーダーシップの時間発展的な実践プロセス」について共同研究を進めてまいりました。

このたび、当社と同研究科との初の共同研究の成果をまとめたディスカッションペーパー（以下、DP）『AI 導入の進展とリーダーの認識・行動の変化：組織の AI 活用を促す循環的プロセス』が、2026 年 11 月 13 日に東京大学大学院経済学研究科経営教育研究センターの Web サイトで公開されましたので、お知らせいたします。

■背景

多くの国内企業が「AI 導入後の伸び悩み」や「現場の活用格差」といった課題を抱える中、本社部門を管掌する ARI 取締役執行役員の竹内 康修は、現場での利用状況の観察と利用者との対話、デジタルストラテジーユニット長 小島 一浩（東京大学大学院経済学研究科修士（経営学））らの協力、そして自らの AI 活用経験に基づき、方針や施策を柔軟にアップデートしてまいりました。

学術研究においても、単に AI を導入したかという議論にとどまらず、技術や組織を取り巻く不確実性の中で、リーダーがいかに現場の状況を継続的に把握し、柔軟に施策を見直しながら成果に繋げていくのか、その過程を時間軸に沿った連続的な変化として捉え、実践的メカニズムを解明することが求められています。

こうした背景のもと、本共同研究では、竹内がどのように当社本社部門で AI 利用を促進し、業務に AI を組み込み、組織変革を進めていったのか、その軌跡と組織的メカニズムについて、国内外の先行研究を踏まえ、学術的な分析を行いました。

■本 DP の概要

本 DP では、企業における AI 導入と組織変革の実践プロセスを学術的に分析しています。現場の状況に応じて柔軟に施策を更新する「動的なリーダーシップ」や、コア業務への AI 組み込み、データに基づく復職者の最適配置の事例などを通じ、AI 時代の組織変革に向けた実践的なモデルを提示しています。

■本 DP の掲載先

東京大学大学院経済学研究科経営教育研究センター

掲載 URL：https://merc.e.u-tokyo.ac.jp/merc/wp-content/uploads/2026/11/MMRC583_2026.pdf

■コメント

東京大学大学院経済学研究科 大木 清弘 准教授のコメント

「多くの企業が生成 AI の導入方法や現場定着に試行錯誤する中、本事例は非常に興味深く、示唆に富むものです。学術的な視点から見ると、技術や現場の不確実性に対し、リーダーが現実を継続的に観察し、柔軟に方針や施策を変更していく『動的なリーダー』の姿を描き出している点に新規性があります。不確実な状況下でリーダーがいかに学び、軌道修正を行いながら組織を動かすかという実践的なメカニズムを明らかにしました。

本ディスカッションペーパーが、AI 時代における組織変革や意思決定のあり方に悩む多くの実務家にとって、思考を深める良いスタートラインとなることを期待しています。」

ARI 取締役執行役員 竹内 康修のコメント

「AI は人間の判断を代替するものではなく、意思決定の前提条件を整え、論点を構造化することで人の本質的な判断の質を高める存在です。また当社では、現場の AI 活用状況や AI の技術的な進歩を常に観察しながら、導入方針を柔軟に変更し、組織に適合する形を模索し続けることこそ重要だと認識しております。

東京大学大学院との共同研究を通じて自社の実践プロセスを客観的に評価・再定義できたことに、大変大きな意義を感じております。今後も現場での試行錯誤とデータ蓄積を重ね、組織全体の持続的な変革を推進してまいります。」

■東京大学大学院 経済学研究科 大木 清弘 准教授 プロフィール

2007 年東京大学経済学部卒業。2012 年東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。東京大学大学院経済学研究科博士（経済学）。専門は国際経営論、国際人的資源管理論、ものづくり経営論。日本企業のグローバル拠点マネジメントや、ICT・AI と組織運営の関係について定性・定量の両面から研究を行っている。主な著書に『多国籍企業の量産知識』（有斐閣、国際ビジネス研究学会賞受賞）、『コア・テキスト 国際経営』（新世社）など。

■ARI について

ARI は、クラウド技術とデータ・AI 活用によるビジネストランスフォーメーションデザイナーとして社会変革をリードする DX 企業です。「BX designer（ビジネストランスフォーメーションデザイナー）」として、お客様の創造的なビジネスゴールの実現に向け、DX 化のためのデジタルシフト、クラウドシフト、データ・AI 活用支援等、顧客の課題解決に向けたサービスを提供しております。

BX を実現するサービスブランドとして、クラウド技術の導入および最適化の支援から構築・運用まで提供する「クラウド総合活用支援サービス cnaris（クナリス）」と、データドリブンによるテーマ策定からデータ収集、可視化、分析、AI 導入を提供する「データ・AI 活用支援サービス dataris（デタリス）」を展開しています。

社　　名：ＡＲアドバンストテクノロジ株式会社（略称：ARI）
設　　立：2010 年 1 月
代 表 者：代表取締役社長　武内 寿憲
上場市場：東京証券取引所　グロース市場（証券コード：5578）
資 本 金：1 億 4,363 万円（2026 年 8 月末現在）
従業員数：社員数 658 名　グループ社員計 871 名（2026 年 8 月末現在）
事業内容：クラウド技術とデータ・AI 活用による DX ソリューション事業
U　R　L：https://ari-jp.com

本件に関するお問い合わせ先
ＡＲアドバンストテクノロジ株式会社（略称：ARI）
広報担当　中澤
Mail：ari-pr@ari-jp.com